



令和5年度
防災活動研修会支援助成事業実施報告書

災害に強いまちづくり 全道運動

はじめに

北海道町内会連合会では、全国各地で度重なる台風や地震、豪雪等による被災を教訓に、平成17年度より「災害に強いまちづくり」をテーマにした全道・ブロック別町内会活動研究大会、研修会の開催、さらに、防災活動研修会支援助成事業を通じて、住民による自主防災活動を推進しています。

これらの取り組みは、東日本大震災を教訓に平成23年度より「災害に強いまちづくり全道運動」として位置付け、安心・安全な地域活動を推進しています。

「防災活動研修会支援助成事業」は、安心・安全な町内会活動を応援するため、「道町連共済」の会費収入を財源に「会員還元事業」として、平成17年度にスタートし、単位町内会等の住民自治組織において実施される防災訓練や自主防災組織研修会を支援しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため助成を中止し、令和3年度、令和4年度、令和5年度は新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら研修会をすすめていただくようご案内しました。

18年目になる令和5年度は、正会員として所属の28市区町村において56の研修会が取り組まれました。

令和5年度の研修会の多くは、地域住民に対する防災意識の啓発を目的として、行政、消防署、警察署との連携・協力により実施されました。

本書は、家庭や地域において防災に対する意識を高め、いざという時に地域住民が互いに助け合い、支え合える関係づくりを願い、56の研修会をまとめました。

終わりになりましたが、本書を作成するにあたり、報告書のとりまとめにご協力いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

一般社団法人
北海道町内会連合会

目次

はじめに

1

1. 令和5年度の実施状況

3

2. 令和5年度実施状況一覧

4

3. 56研修会の概要

6

4. 令和5年度防災活動研修会支援助成事業実施要綱

34

5. 「防災活動研修会支援助成事業」これまでの指定状況一覧

36

防災活動研修会支援助成事業 令和5年度の実施状況

1. 防災活動研修会支援助成事業とは

北海道町内会連合会では、全国各地で度重なる台風や地震、豪雪等による被災を教訓にして、平成17年度より「災害に強いまちづくりをめざして」をテーマに、町内会の防災に関する広報活動、研修会の開催、さらに、防災活動研修会支援助成事業を通じて、住民による自主防災活動を応援しています。

これらの取り組みは、東日本大震災を教訓に平成23年度より「災害に強いまちづくり全道運動」として位置付け、安心・安全な地域活動を推進しています。

本助成事業は、安心・安全な町内会活動を応援するため、見舞金制度「道町連共済」の会員還元事業として、平成17年度にスタートし、連合町内会や単位町内会等の住民自治組織において実施される防災訓練や自主防災組織研修会を支援しています。研修会を実施する単位町内会等には、2万円が助成されています。

2. 令和5年度は56組織に助成

本事業18年目の令和5年度は、正会員として所属の28市区町村の単位町内会46組織、地区連合会10組織の56の組織において主催・共催実施されました。

「防災活動研修会支援助成事業」 (組織)

実施組織 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22
単位町内会	21	38	38	70	58	61
地区連合会	10	13	10	16	19	31
連合町内会	13	9	10	14	8	5
計	44	60	58	100	85	97

「災害に強いまちづくり全道運動」として位置付け推進 (組織)

実施組織 年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 3	R 4	R 5
単位町内会	61	69	68	78	70	67	70	63	74	34	31	46
地区連合会	22	13	22	19	23	23	22	27	16	5	6	10
連合町内会	14	12	10	4	8	9	8	10	14	2	—	—
計	97	94	100	101	101	99	100	100	104	41	37	56

3. 令和5年度の取り組み状況

研修会は、大規模地震災害、津波、台風による水害等を想定した「避難所開設・運営訓練」への取り組みが多く、トイレの備えは最優先とし、実技ではプライベートスペースとダンボールベッドの組み立ての実践が多く見られました。さらに、女性の視点で見る防災、ヒグマに出会った時の対策などの取り組みも見られました。令和5年度に取り組まれた研修会は、次頁の「令和5年度実施状況一覧」のとおりです。

令和5年度実施状況一覧

市区町村名	組織名	研修会名	頁
北区	拓北あいの里町内会 第3ブロック	防災訓練（第3ブロッ ク）あいの里西小学校	6
北区	拓北あいの里町内会 第4ブロック	防災訓練（第4ブロッ ク）鴻城小学校	6
北区	拓北あいの里町内会 第5ブロック	防災訓練（第5ブロッ ク）あいの里東小学校	7
北区	新琴似連合町内会	防災防犯研修会	7
北区	南西ブロック・安春川中央 自治会(むつみ町内会他)	自主防災・防火担当 者実技訓練	8
北区	Sタウン町内会	自主防災組織におけ る防災講習会	8
豊平区	月寒東236町内会	防災研修会	9
豊平区	月寒F4町内会	防火・防災訓練	9
豊平区	クリーンリバー月寒 東町内会	防災避難訓練	10
豊平区	豊平第4分区町内会	合同自主防災訓練	10
豊平区	豊平第17分区町内会	自主防災訓練	11
豊平区	豊平第18分区町内会	防災訓練	11
豊平区	中の島地区町内会連 合会	環境・防災合同研修 会	12
南区	十五島町内会	防災訓練	12
函館市	時任町会	自主防災講習会	13
小樽市	桃内町内会	自主防災避難訓練	13
小樽市	桂岡町内会	防災ウォーク2023	14
小樽市	赤岩町会	防災研修会	14
岩見沢市	幌向地区町会連絡協 議会	冬の防災教室	15

市区町村名	組織名	研修会名	頁
稚内市	大黒二町内会	炊き出し訓練	15
芦別市	あかつき町町内会	防災研修会	16
芦別市	野花南町町内会	芦別市防災訓練への 協力・参加	16
江別市	高砂町自治会	早急な避難所設置	17
江別市	野幌松並町自治会	防災と減災の話	17
江別市	アイシティ若葉台自 治会	自主防災組織研究会	18
三笠市	萱野連合町内会	防災学校	18
三笠市	幾春別連合町内会	防災活動講習会	19
三笠市	若松町西親交會	防災講習会	19
根室市	千鳥町会	防災教室（勉強會）	20
根室市	駒場第二町会	自主防災研修会	20
恵庭市	島松本町町内会	自主防災研修旅行	21
恵庭市	文京町町内会	防災研修会	21
恵庭市	幸町町内会	防災研修及び非常用 食材の炊き出し演練	22
伊達市	長和地区第3区自治 会	防災避難訓練	22
石狩市	北六条町内会	自主防災組織訓練	23
石狩市	花川南町内会	防災講習会	23
石狩市	あさひ町内会	救急応急措置訓練	24
北斗市	常盤町会	ほくと防災マルシェ	24

市区町村名	組織名	研修会名	頁
北斗市	向野町内会	災害時の避難所開設及び運営に関する研修会	25
北斗市	ひまわり町会	防災学習会	25
当別町	緑町町内会	防災講習会	26
当別町	六軒町町内会	防災出前講座	26
当別町	スウェーデンヒルズ町内会	防災出前講座（ヒグマ対策）	27
倶知安町	新東和会	避難訓練	27
枝幸町	本幌別自治会	防災会防災訓練	28
津別町	豊永第3自治会	防災体験研修会	28
遠軽町	西学田自治会	防災避難訓練	29
白老町	末広第一町内会	防災研修会	29
安平町	追分第2町内会	自主防災組織運営会議	30
むかわ町	豊城自治会	防災研修会	30
新冠町	節婦自治会	防災訓練	31
釧路町	遠矢町内会	防災講話	31
別海町	西春別駅前連合町内会	防災訓練・研修会	32
中標津町	白樺町内会	防災訓練	32
中標津町	東中町内会	東中地域連携防災訓練	33
羅臼町	八木浜町町内会	自主防災訓練	33

北 区

拓北あいの里町内会第3ブロック

～大雨や台風に備えて～ 防災訓練(第3ブロック)あいの里西小学校

- 実施日** 令和5年10月22日(日)
- 世帯数** 2,200世帯
- 参加者** 第3ブロック13町内会住民100名
- 協力** あいの里西小学校、北消防署、介護予防センター茨戸、札幌市防災協会
- 目的** 地域住民の防災意識の高揚と協力体制を図る。

■研修会の主な内容

1. 大雨や台風による災害想定と備え(DVD視聴による研修)
2. 避難所開設訓練
3. 心肺蘇生、AED取り扱いの研修、訓練
4. フレイル予防体操

■研修会の成果

実際の基幹避難所で研修や訓練を実施することにより、知識の習熟度が高まり、また、避難所開設による協力体制が構築され、地域の防災力向上につながった。



大雨や台風への備えを研修



AEDの取り扱い訓練

北 区

拓北あいの里町内会第4ブロック

～避難所開設による協力体制を構築～ 防災訓練(第4ブロック)鴻城小学校

- 実施日** 令和5年10月1日(日)
- 世帯数** 2,400世帯
- 参加者** 第4ブロック12町内会住民127名
- 協力** 鴻城小学校、北消防署
- 目的** 地域住民の防災意識の高揚と避難所開設における予備知識の習得

■研修会の主な内容

1. 避難誘導訓練
2. 避難所開設訓練
3. 避難所見学及び備蓄品等確認

■研修会の成果

実際の基幹避難所で訓練を実施することにより、知識の習熟度が高まり、また、避難所開設による協力体制が構築され、地域の防災力向上につながった。



避難者受付名簿に記入



避難スペースへ移動

北 区

拓北あいの里町内会第5ブロック

～地域の防災力向上のため～ 防災訓練（第5ブロック）あいの里東小学校

〔実施日〕 令和5年9月24日（日）

〔世帯数〕 3,000世帯

〔参加者〕 第5ブロック8町内会住民100名

〔協力〕 あいの里東小学校、協働福祉会、北海道医療大学

〔目的〕 地域住民の防災意識の高揚と避難所開設における予備知識の習得

■ 研修会の内容

1. 防災対策本部設置訓練
2. 避難所開設訓練
3. 救護訓練

■ 研修会の成果

実際の基幹避難所で訓練を実施することにより、知識の習熟度が高まり、また、避難所開設による協力体制が構築され、地域の防災力向上につながった。



参加者のグループ分け



炊き出しの豚汁

北 区

新琴似連合町内会

～インターネット・SNSの脅威を学ぶ～ 防災防犯研修会

〔実施日〕 令和5年10月31日（火）

〔世帯数〕 12,590世帯

〔参加者〕 55名

〔協力〕 新琴似まちづくりセンター、札幌市市民文化局地域振興部

〔目的〕 安全で安心に暮らせる地域社会を目指した地域安全運動の推進

■ 研修会の内容

各単位町内会会長、防災防犯部長及び地域安全推進委員等が参加し、防災防犯に関する研修会を行った。

『研修会テーマ』

1. 犯罪被害を防ぐ～インターネット・SNSの脅威
2. 火災予防について

■ 研修会の成果

「安全で安心に暮らせる地域社会」に対する防災防犯意識の向上を図ることができた。



インターネット・SNSの脅威



住宅用火災警報器とは

北 区

南西ブロック・安春川中央自治会(むつみ町内会他)

～危機対応のノウハウを身につける～ 自主防災・防火担当者実技訓練

- 〔実施日〕 令和5年10月14日(土)
- 〔世帯数〕 3,076世帯
- 〔参加者〕 各単位町内会会員、自主防災・防火委員、消防団員、老人クラブ等65名
- 〔協力〕 北消防署新光出張所・新琴似出張所、消防団等
- 〔目的〕 消防署員の指導のもと、防火防災に対応する実技訓練を行い、発生時の初期対応技術の向上を図る。

■研修会の主な内容

1. 防災資機材の使用取扱いについて
2. 災害時などのロープ結束について
3. AEDの取扱い・心肺蘇生法について
4. 防火防災に関する質疑応答

■研修会の成果

訓練指導を受け、備え付けの町内会資機材での初期対応可能との確認、防災に対する重要性の再確認。



防災資機材の使用取扱い



AED 取扱い・心肺蘇生法

北 区

Sタウン町内会

～防災とともに消費者被害を学ぶ～ 自主防災組織における防災講習会

- 〔実施日〕 令和5年6月25日(日)
- 〔世帯数〕 487世帯
- 〔参加者〕 防災委員、町内会会員39名
- 〔目的〕 防災意識を高め、災害危機に備えることを目的とする。

■研修会の主な内容

防災、災害時の対応、防災委員の役割

1. 防災委員の役割
2. 火災時の対応
3. 災害時における「要支援者」の対応要領
4. AEDの使い方

■研修会の成果

防災委員、参加者の防災意識の向上を図ることができた。



クーリングオフも学びました



防火委員の役割などを確認

豊平区

月寒東236町内会

～各家庭での防災意識を高める～ 防災研修会

〔実施日〕 令和5年7月16日（日）

〔世帯数〕 97世帯

〔参加者〕 町内会員31名

〔協力〕 豊平区地域振興課

〔目的〕 町内会会員の防災意識の向上、各家庭の防災準備・震災時の食の工夫等各家庭で話し合う機会をつくる。災害時に安全性を確認して避難するべきかを検討する重要性、火災時の対応について啓蒙する。

■ 研修会の主な内容

1. 札幌市防災センターリニューアルオープンで体験。
 - ・ 災害バーチャル体験コーナー
 - ・ 消火体験コーナー
 - ・ 暴風体験コーナー
 - ・ 煙避難体験コーナー
 - ・ 地震体験コーナー
2. 防災グッズ、食品の備蓄について確認



消火体験コーナー



暴風体験コーナー

■ 研修会の成果

研修会后、家庭で防災について話し合い、自宅での備えを若い家族もするようになった。防災意識の向上が図られた。

豊平区

月寒F4町内会

～消火設備と火災時の対応を学ぶ～ 防火・防災訓練

〔実施日〕 令和5年9月10日（日）

〔世帯数〕 26世帯

〔参加者〕 町内会会員他13名

〔協力〕 月寒団地十五自治会

〔目的〕 日々の防火の認識と災害への備え（備蓄等）災害時要支援者への支援の確立。

■ 研修会の主な内容

1. 棟内の消火設備の説明（火災報知器・屋内消火栓・防火扉など）
2. 消火器の使用訓練～水消火器で練習（駐車場にて）
3. 火災の原因の説明
4. 要支援者の誘導方法及び避難の方法



棟内の消火設備の説明



消火器の操作方法を確認

■ 研修会の成果

毎年実施しているが、災害は忘れた頃にやって来るので、心構え、準備を怠りなく、皆さんに真剣に取り組んでもらった。

豊平区

クリーンリバー月寒東町内会

～幼児から大人まで消火を体験～ 防災避難訓練

- 〔実施日〕 令和5年10月15日（日）
〔世帯数〕 114世帯
〔参加者〕 町内会会員および来客80名
〔協力〕 クリーンリバー月寒東理事会、豊平消防署
〔目的〕 災害に備え避難訓練、災害時のための炊き出し練習を兼ねて親睦を図る。

■ 研修会の主な内容

1. 火災発生、避難、集会室前集合
2. 消火器訓練実施
3. 自動消火装置説明会（札幌市の設置費助成について）
4. 炊き出し

■ 研修会の成果

消火器の使い方を幼児から大人まで体験でき、自動消火装置説明会では、たくさんの質問があり、意識を高めることができた。



関心が高かった自動消火装置の説明



炊き出しでは子ども達もお手伝い

豊平区

豊平第4分区町内会

～マンション合同実施で防災意識の改革～ 合同自主防災訓練

- 〔実施日〕 令和5年10月14日（土）
〔世帯数〕 230世帯
〔参加者〕 町内会会員64名
〔協力〕 豊平消防署、豊平消防分団豊平分団、豊平消防団レディース隊、豊平地区町内会連合会防災部、豊平区総務企画課
〔目的〕 訓練や体験を通じた自主防災意識の向上

■ 研修会の主な内容

1. 発電機の起動操作要領・LED 大型照明器具の接続訓練
2. 煙道訓練～火災時の煙体験（当町内会の発電機使用）
3. 水消火器による消火訓練
4. 防災資機材の取扱い・応急担架の作り方訓練
5. 町内会女性部による炊き出し調理訓練と試食
6. 避難所での占用居住スペース体験
7. レディース隊による AED 訓練
8. トイレ用簡易テントの組立、使用方法、使用後の処理訓練
9. ダンボールベッド・簡易ベッド組立て訓練
10. 町内会防災用品（ヘルメット・LED ランタン・避難所間仕切りテント等）

■ 研修会の成果

町内会及び大型MS管理組合等と合同で自主防災訓練をすることで住民の防災に対する意識改革が図られた。



消防レディース隊による AED 訓練



ダンボールベッドの組立て訓練

豊平区

豊平第17分区町内会

〔実施日〕 令和5年10月7日（土）

〔世帯数〕 689世帯

〔参加者〕 町内会会員・留学生80名

〔協力〕 豊平消防署、豊平消防分団豊平分団、豊平消防団レディース隊

〔目的〕 訓練や体験を通じた自主防災意識の向上

■ 研修会の主な内容

1. 煙道訓練～火災時の煙を体験
2. 消火器訓練
3. 防災映像による開設研修
4. 消防レディース隊による AED 訓練

■ 研修会の成果

町内会で自主防災訓練をすることで住民の防災に対する意識改革が図られた。

～留学生も交えて防災意識の向上～ 自主防災訓練



火災時の煙を体験



消火器訓練

豊平区

豊平第18分区町内会

〔実施日〕 令和5年8月26日（土）

〔世帯数〕 670世帯

〔参加者〕 町内会会員43名

〔協力〕 豊平地区町内会連合会防災部、豊平消防署、豊平消防団豊平分団、豊平レディース隊、町内会防災部

〔目的〕 訓練や体験を通じた自主防災意識の向上

■ 研修会の主な内容

1. 煙道訓練～火災時の煙による体験
2. 消火器訓練
3. 消防レディース隊による救出・援護訓練
4. 給水訓練（給水所設置）

■ 研修会の成果

町内会で自主防災訓練をすることで住民の防災に対する意識改革が図られた。

～子どもから大人まで防災意識が高まる～ 防災訓練



レディース隊による AED 訓練



給水訓練

豊平区

中の島地区町内会連合会

〔実施日〕 令和5年10月25日（水）

〔世帯数〕 5,801世帯

〔参加者〕 町内会会員34名

〔目的〕 札幌市民防災センターにおいて、様々な災害を疑似体験することにより、防災意識の向上を図る。

■ 研修会の主な内容

札幌市民防災センターにおける災害疑似体験

1. 地震体験
2. 救急体験
3. 防風体験
4. 消火体験
5. 煙避難体験
6. 津波、土砂災害、都市型災害バーチャル体験

■ 研修会の成果

様々な災害を疑似体験することによって、参加者の防災意識や防災スキルが向上した。

～災害の疑似体験で防災意識の向上～ 環境・防災合同研修会



地震体験



消火体験

南区

十五島町内会

〔実施日〕 令和5年11月25日（土）

〔世帯数〕 607世帯

〔参加者〕 町内会会員20名

〔協力〕 南消防署、南区役所、札幌市防災協会

〔目的〕 約5年前の胆振東部地震を振り返り、各家庭の備えや災害時の町内会活動の必要性を再認識する。

■ 研修会の主な内容

1. 胆振東部地震の振り返り
2. ハザードマップの見方について
3. 家庭の備えについて
4. 消火器の取り扱い訓練

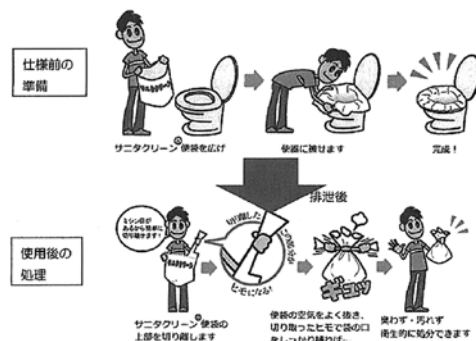
■ 研修会の成果

参加者は、家庭での備えについて理解したようだ。

～胆振東部地震を振り返る～ 防災訓練



一番に備える防災用品は？



トイレの備えを最優先にすべき

函館市

時任町会

〔実施日〕 令和5年11月20日（月）

〔世帯数〕 1,037世帯

〔参加者〕 町会会員、役員18名

〔目的〕 クイズで学ぼう非常時のトイレ使用

■ 研修会の主な内容

1. 住民の防災意識の向上
2. 災害に強い町会づくり
3. DVD 視聴（非常時のトイレ使用）で交流

■ 研修会の成果

災害時の避難所・在宅避難で困るトイレ問題をどのように克服するか習得できた。

～排泄は、待たなし～ 自主防災講習会



DVD 視聴

排泄は、待たなし

78% 9時間以内トイレに行きたくなった人

排泄は我慢することのできない生理現象である。宮城県気仙沼市の小学校の保護者36名に「震災から何時間でトイレに行きたくなりましたか？」と聞いたところ、下図の結果が得られた。3時間以内は31%、9時間以内では78%がトイレに行きたくなっている。ちなみに、阪神淡路大震災において神戸の主婦グループが実施した聞き取り調査では、3時間以内に55%がトイレに行きたくなったと回答している。災害時におけるトイレ対策の緊急性が分かる結果である。

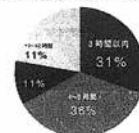


図3：震災から何時間でトイレに行きたくなったか（回答：36人）

災害から9時間以内が78%

小樽市

桃内町内会

〔実施日〕 令和5年10月14日（土）

〔世帯数〕 66世帯

〔参加者〕 町内会役員ほか会員56名

〔協力〕 小樽市総務部災害対策室

〔目的〕 地域住民が、実際に海岸を離れて高い場所に避難する訓練を通して、いざという時に備えて迅速に行動できるようにするとともに、防災意識の向上を図る。

■ 研修会の主な内容

1. 各班に分かれて各指定避難場所まで移動した。
2. 支援を要する人には、自宅まで支援協力者が車で迎えに行き指定避難場所まで移動した。
3. 指定避難場所到着までの所要時間と身体状況を聞き取りして記録した。
4. 各班担当者、参加者から意見、要望を聴取した。
5. 市災害対策室主幹から全体の講評を得た。

■ 研修会の成果

大勢の参加があり、皆さんの防災意識の高さを認識した。要支援者への避難移動も円滑に行われた。

～海岸を離れて高台に避難～ 自主防災避難訓練



神社高台への避難



要支援者宅へ車で迎えに

小樽市

桂岡町内会

～自助・共助・公助の体験で地域全体の備えに～ 防災ウォーク2023

- 実施日** 令和5年9月3日（日）
- 世帯数** 959世帯
- 参加者** 町内会会員、桂岡小学校教員・児童・保護者、ボランティア団体66名
- 協力** 小樽市総務部災害対策室、小樽市立桂岡小学校、小樽消防署銭函支署、札幌学院大学まちおこし研究会
- 目的** 胆振東部地震から5年を迎える中、桂岡町内会が災害発生時に指定緊急避難場所・指定避難所【公助】となる桂岡小学校と連携して、住民一人ひとりの防災意識を高め【自助】、災害発生時などに住民が支え合える【共助】仕組みづくりを目指す。



桂岡小学校まで防災ウォーク

研修会の主な内容

1. 桂岡十万坪会館から避難所の桂岡小学校まで実際に歩く「防災ウォーク」
2. 避難所となる桂岡小学校の防災備蓄品や保管状況を確認する「避難所体験」
3. 非常食のアルファ米を水で戻し試食。実用性を確認する「防災食体験」
4. スマートフォンで防災・避難情報の取得方法や操作技術を学ぶ「スマホ教室」



桂岡小学校の防災備蓄品

研修会の成果

いざという時のために避難経路を逃げきる力を養い【自助】、災害発生時には子どもから高齢者までの地域住民が互いに支え合い【共助】、指定避難所の開設時【公助】の状況を体験できたことで、地域住民と公的機関、ボランティア団体等との協力体制が強化され、将来の災害に対する地域全体の備えとなった。参加者アンケートでは、「防災に対する意識が高まり、災害への備えの重要性を理解した」との回答もいただいた。さらに、小樽市のホームページでも活動が紹介され、他の地域での防災活動に共有されることを期待する。

小樽市

赤岩町会

～町会会館での災害を想定して～ 防災研修会

- 実施日** 令和5年10月22日（日）
- 世帯数** 1,147世帯
- 参加者** 町会会員、役員、会館利用のサークル会員等25名
- 協力** 小樽市消防署、小樽市消防団第11分団
- 目的** 赤岩地域は、地形的に崖崩れ危険地域に指定された場所が多く、住民に対して日ごろから災害対策への心構えと実施訓練が必要であることから、町会会館内での災害を想定し、会館の利用団体メンバーにも呼びかけ、万が一の場合に速やかな行動が行えるよう実地訓練を行う。

研修会の主な内容

1. 災害時の消防署等への通報・連絡訓練及び初期消火訓練
2. 会館からの避難及び誘導の確認
3. ダミー人形を使用しての人口呼吸・心臓マッサージの訓練
4. AED を使用しての心肺蘇生法訓練
5. 水消火器による消火訓練



心臓マッサージの訓練



水消火器による消火訓練

研修会の成果

反復訓練をすることにより、災害時に対しての学習に役立った。

岩見沢市

幌向地区町会連絡協議会

- 〔実施日〕 令和5年12月9日（土）
- 〔世帯数〕 2,600世帯
- 〔参加者〕 町会会員22名
- 〔協力〕 岩見沢市総務部防災対策室
- 〔目的〕 厳冬期の災害発生に備えるため、電気・照明・暖房が停止した時の環境を想定し、非常物資の備蓄を行うなど、日ごろの備えを学ぶ。

■研修会の主な内容

1. 地震について学ぶ
2. 冬の暮らしの注意点
3. 女性の視点で見る防災
4. アルミブランケット体験

■研修会の成果

停電時の食事準備、トイレ、暖房について学ぶことができた。男性の参加者が多かったため、女性の視点で見る防災、避難所の様子を知ってもらうことができた。

～女性の視点で見る防災～ 冬の防災教室



石狩低地東縁断層帯

冬期間の備え

電気が必要ない暖房器具（灯油ストーブ）などを用意する
※燃料も十分に備蓄しておく



電気が必要ない暖房を用意

稚内市

大黒二町内会

- 〔実施日〕 令和5年6月15日（木）
- 〔世帯数〕 292世帯
- 〔参加者〕 町内会役員20名
- 〔目的〕 役員の入替わり、コロナ禍としばらく訓練を行うことができなかった事から、災害時の役割確認、備品の動作確認を合わせて訓練と実食を行った。

■研修会の主な内容

1. 発電機での投光器点灯
2. ガスを使用したカレー調理、パックご飯温め
3. 人数分の料理の盛り付け動作確認
4. 実食

■研修会の成果

不足している物品の確認、役員の役割、行動の確認ができた。

～コロナによる停滞のため災害時の役割確認～ 炊き出し訓練



投光器の点灯動作を確認



ガス台を利用したカレー調理

芦別市

あかつき町町内会

- (実施日) 令和5年11月16日(木)
(世帯数) 230世帯
(参加者) 町内会会員20名
(協力) 芦別市総務部総務防災課
(目的) 自主防災組織の必要性について

■ 研修会の主な内容

1. 防災講話：避難所とは、避難所における感染症対策、備蓄品等
2. 実技：間仕切りテントの設営、ダンボールベッドの組み立て、簡易トイレの使用法等
3. 質疑応答：自力避難が困難な人の避難所までの移動方法と個別避難計画策定に係る質問
4. その他：当日他団体との行事と重なり、参加者の制限や非常食試食を中止するなど、今回の反省点を踏まえ、次回に活かす。

■ 研修会の成果

自主防災組織の設立に向けた研修会の第1弾として開催したが、防災組織の必要性の理解が深まったと考える。

～自主防災組織の設立に向けて～ 防災研修会



避難所についての講話



テントとベッドの設営実技

芦別市

野花南町町内会

- (実施日) 令和5年11月7日(火)
(世帯数) 132世帯
(参加者) 町内会会員、消防第4分団、町内会婦人防火クラブ17名
(協力) 芦別市総務部総務防災課ほか
(目的) 防災訓練への参加・協力を通して、町内会における防災意識の向上を図る。

■ 研修会の主な内容

1. 避難情報伝達訓練
2. 避難行動及び避難誘導訓練
3. 避難所準備及び開設訓練
4. 応急救護訓練

■ 研修会の成果

実際の災害を想定した各種訓練を実施し、参加者の防災意識の向上が図られた。

～防災意識の向上を図る～ 芦別市防災訓練への協力・参加



避難所受付訓練



三角巾による応急救護訓練

江別市

高砂町自治会

- 〔実施日〕 令和5年10月14日（土）
- 〔世帯数〕 420世帯
- 〔参加者〕 自治会会員29名
- 〔協力〕 江別市総務部危機対策防災担当・江別市民会館
- 〔目的〕 早急な避難所設置のため

■ 研修会の主な内容

1. 緊急連絡網練習
2. 受付練習
3. 避難所としての江別市民会館
4. 避難所運営ゲーム

■ 研修会の成果

避難所設置のためマニュアルの確認が必要と感じた。

～避難所の運営方法を考える～ 早急な避難所設置



避難所運営ゲーム



避難所運営ゲームの振り返り

江別市

野幌松並町自治会

- 〔実施日〕 令和5年10月19日（木）
- 〔世帯数〕 315世帯
- 〔参加者〕 自治会役員・防災担当者・自治会会員25名
- 〔協力〕 江別市総務部危機対策防災担当
- 〔目的〕 地域で想定される災害に備える方法や減災の方法を知り、防災意識を高める。非常食にはどんなものがあるかを知り、実際に試食する。

■ 研修会の主な内容

1. 江別市で起きた災害事例について、写真を使ってわかりやすい説明があった。
2. 江別市の「防災あんしんマップ」を使って野幌松並町では水害の可能性はほとんどないが、地震被害はあり、避難所の場所を確認した。
3. SNSによる防災情報の提供など、江別市の取り組みが紹介された。
4. 非常食のパンが提供され、ローリングストックという家庭で防災意識を高める方法が紹介された。
5. 質疑応答の中で避難所の運営方法や内水氾濫への対応について、今後の課題であることが明らかになった。

■ 研修会の成果

参加者アンケート結果から、研修会を通じて防災意識が高まり、家族や地域で話し合う重要性が確認できた。防災担当への質問や意見で防災を主体的に捉えることができた。

～過去の災害事例に学ぶ～ 防災と減災の話



江別市で起きた災害事例の説明

江別市

アイシティ若葉台自治会

〔実施日〕 令和5年10月14日（土）

〔世帯数〕 133世帯

〔参加者〕 自治会会員52名

〔協力〕 江別消防署

〔目的〕 避難訓練・防災講話・自主防災ガイド研修会

■研修会の主な内容

- ・数年行われていない防災訓練を消防署の協力を得て、小規模な防火訓練と併せて実施。
- ・当マンション作成の防災ガイド（研修会資料）の内容を防災担当から詳細に説明。
- ・防災について、自治会員からの要望、問い合わせを説明・協議し、緊急時につなげる。

■研修会の成果

訓練は、消防の緊急出動のため途中で中止となったが、空き時間をマンションの防災ガイドを作成した防災管理者から説明。会員からの質疑に多くの時間を割け、防災への関心度と意識向上につながった。今回中段の防災訓練は3月～4月に大規模訓練として実施の方向。

10月31日には会員から要望のあったAED訓練と避難所に使用するクラブハウスの階段で使用の車いすの避難昇降機訓練を実施できた。大規模訓練では救助、炊き出し、防災グッズの使用等、現在検討中。



防災ガイドの説明

三笠市

萱野連合町内会

〔実施日〕 令和5年7月19日（水）

〔世帯数〕 52世帯

〔参加者〕 50名（児童生徒・地域住民・コミュニティスクール環境安全部・教職員）

〔協力〕 三笠消防署

〔目的〕 テントやプライベートルームの作り方・受付や物資の搬送の仕方を学び、避難所でも安心して過ごせるようにする。

■研修会の主な内容

1. 避難所体験（運営訓練・受付設置・避難所設置・物資搬送）
2. 放水展（放水車の展示・放水作業見学）
3. 消防の講評
4. 防災グッズの展示
5. 非常食体験

■研修会の成果

参加者がグループに分かれて年齢に関わらず、同じ訓練をすること事で、協調性や世代間での協力・交流が行われた。繰り返し訓練をする事により、避難場所の確認や被災時に慌てず行動する事ができるようになった。

～世代を超えて避難所体験～ 防災学校



防災グッズの展示



プライベートルームづくり

三笠市

幾春別連合町内会

〔実施日〕 令和5年10月1日（日）

〔世帯数〕 130世帯

〔参加者〕 連合町内会地域住民35名

〔協力〕 三笠市消防団第2分団・防災マスター資格者

〔目的〕 地域における災害発生の危険を認識し、災害の発生時には最小限に抑えるための行動の訓練、日ごろからの備え等を学び、防災意識の高揚を図る。

■研修会の主な内容

1. 災害発生時における地域住民と各機関に連携について、当地区の自主防衛組織の体制を再確認した。
2. 当地区の地図を基に危険箇所と防災意識の高揚、避難場所の確認・非常時等の日常の備え、近隣の把握と行動などを改めて考え直す機会となった。
3. 三笠市内の過去における水害の事例（雨量の数値・雨の強さ・住宅浸水の箇所）を資料と映像で説明してもらった。

■研修会の成果

災害時には、自分の身は自分で守る努力を考え直した。

～日ごろからの備え～ 防災活動講習会



自主防災組織体制を再確認



三笠市の水害事例を学ぶ

三笠市

若松町西親交会

〔実施日〕 令和5年7月22日（土）

〔世帯数〕 39世帯

〔参加者〕 親交会会員、自主防災組織会員25名

〔協力〕 三笠市消防署、岩見沢警察署

〔目的〕 地震災害や豪雨等の自然災害だけではなく、人為的な災害に着目した研修会を実施。

■研修会の主な内容

1. 災害時における防犯対策と避難経路の確認
2. 特殊詐欺の実態と被害者にならないための心構え
3. 交通事故の実態と高齢者運転者に多い事故原因や対策
4. 岩見沢警察署による講話

■研修会の成果

参加者からは内容が具体的でわかりやすかったとの感想を寄せられ、所期の目的を達成することができ、ありがとうございました。

～防災と防犯について学ぶ～ 防災講習会



特殊詐欺の実態を学ぶ



高齢者に多い事故原因をさぐ

根室市
千鳥町会

～災害発生時の初期対応～
防災教室（勉強会）

- 〔実施日〕 令和5年11月26日（日）
- 〔世帯数〕 104世帯
- 〔参加者〕 町会会員17名
- 〔協力〕 根室市総務部危機対策課
- 〔目的〕 災害発生時の初期対応や事前対応等の習得

■ 研修会の主な内容

1. 新ハザードマップの見方について
2. 家具の転倒防止対策について
3. ダンボールベッド作成体験など

■ 研修会の成果

自らの生活や家庭環境から想定される行動確認など、防災の再確認ができた。



ハザードマップの見方



ダンボールベッド作成体験

根室市
駒場第二町会

～消火器の取り扱いを習得～
自主防災研修会

- 〔実施日〕 令和5年9月3日（日）
- 〔世帯数〕 107世帯
- 〔参加者〕 町会会員30名
- 〔協力〕 根室市消防本部
- 〔目的〕 災害等から町会内の高齢者やひとり暮らしの高齢者世帯の安全確保を図るため、2017年に災害時の支援組織として「駒ボラ隊」を結成。活動を円滑に行うため、毎年研修会を実施する。

■ 研修会の主な内容

1. 消防職員による防災・防火についての説明
2. 消防職員による初期消火訓練
3. その他

■ 研修会の成果

災害時における初期行動意識の向上と消火器の取り扱いを習得した。



消防職員による説明



初期消火訓練

恵庭市

島松本町町内会

〔実施日〕 令和5年10月6日（金）

〔世帯数〕 780世帯

〔参加者〕 町内会会員29名

〔協力〕 江別河川防災ステーション

〔目的〕 自然災害（大雨による）に対する協力体制及び避難方法

■研修会の主な内容

1. 昭和56年度大洪水による堤防決壊、被害規模及び被害状況の説明
2. 江別河川防災センター敷地内に備蓄されている防災用レンガ及び鉄柵
3. 江別河川防災センター事務所内に備蓄している防災資材及び土嚢の保管状況

■研修会の成果

島松本町町内会自主防災部の機能が向上した。積極的な情報収集の必要性。



昭和56年の氾濫



参加の皆さん29名

～自然災害に対する協力体制と避難方法～ 自主防災研修旅行

恵庭市

文京町町内会

〔実施日〕 令和5年10月15日（日）

〔世帯数〕 465世帯

〔参加者〕 町内会会員24名

〔協力〕 恵庭市基地・防災課、地域包括支援センターたよれーるみなみ

〔目的〕 町内会での防災に対して、自助から共助の基本的な事項を普及して、今後の防災事業への町内会会員の認識の共有を図る。

■研修会の主な内容

1. 講座「防災に備えて」
2. 誰もが安心して暮らせるまちを目指して
3. 避難所運営マニュアルの確認と防災用品の確認
4. 炊き出し訓練

■研修会の成果

参加者の防災意識が向上した。

～その時に備えて～ 防災研修会



ステージ下の防災用品



車いすで避難所へ

恵庭市

幸町町内会

- 〔実施日〕 令和5年8月27日（日）
〔世帯数〕 339世帯
〔参加者〕 町内会役員、婦人部、各区長13名
〔協力〕 千歳市防災学習交流センター
〔目的〕 町内会役員等に対し防災（避難所・非常食・設備）についての意識の向上を図る。

■ 研修会の主な内容

1. 防災訓練の概要を説明し、防災組織の役割と行動を確認
2. 千歳市防災学習交流センター見学
3. 防災倉庫の装備品の確認
4. ブルーシートによる一時避難場所の構築及び発電機等の使用法
5. 炊き出し訓練と災害援助用の非常食パック詰めを実施
6. 災害援助用非常食を参加者に配付
7. シェイクアウト訓練の実施

■ 研修会の成果

研修会での災害発生時の町内会炊き出し等の実施、千歳市防災学習交流センター見学で防災意識を高めることができた。

～防災組織の役割と行動を確認～ 防災研修及び非常用食材の炊き出し演練



炊き出しの様子



シェイクアウト訓練

伊達市

長和地区第3区自治会

- 〔実施日〕 令和5年10月14日（土）
〔世帯数〕 97世帯
〔参加者〕 自治会会員67名
〔協力〕 JR長和駅、長和コミセン連絡協議会、伊達市危機管理課
〔目的〕 有珠山噴火を想定し、自治会員の速やかな避難を実現する。

■ 研修会の主な内容

1. 自治会の連絡網を通して避難命令を伝達する。
2. 避難命令を全住民に知らせ、バス回送所に集合するよう呼びかける。
3. 対策本部はJR駅、長和コミセンに対策本部を設置し、想定したバスの到着まで会員に待機してもらう。
4. 総評にて、災害の対応について注意喚起する。

■ 研修会の成果

昨年に続き、2回目の避難訓練で、徐々に会員の避難意識が高まってきている。人によっては理解がまちまちのため、今後一層の周知徹底が望まれる。

～有珠山噴火を想定して～ 防災避難訓練



受付では氏名と伝達者を記入



参加者の皆さん

石狩市

北六条町内会

〔実施日〕 令和5年7月30日（日）

〔世帯数〕 157世帯

〔参加者〕 北六条町内防災会会員、町内会会員32名

〔協力〕 石狩市防災まちづくり協会、石狩市防災マスター連絡会

〔目的〕 「隣保共同の精神に基づき」の原点に立ち返り、「自助・共助・公助」の自助の平常時の活動の防災組織の普及・啓発を図る。

■ 研修会の主な内容

1. 防災学習 DVD：家庭用防災（家具の転倒防止対策）、地震だ！その時どうする？
2. 防災講座：地震の種類・石狩周辺の活断層・近所の地震対策・石狩市の過去の災害事例・近所の助け合い
3. 非常用食料品（ライスクッキー）・飲み物（500ml）配付

■ 研修会の成果

地震による負傷者の原因は、家具等の転倒・落下・移動が約30～50%であり、これらの危険は、具体的に「ケガ」「火災」「避難障害」の3つであること。これらの対策が重要であることが再認識できた。

～平常時の活動から防災を学ぶ～ 自主防災組織訓練



DVDで防災学習



真剣に視聴する参加者の皆さん

石狩市

花川南町内会

〔実施日〕 令和5年10月22日（日）

〔世帯数〕 720世帯

〔参加者〕 町内会会員32名

〔協力〕 石狩市防災まちづくり協会、石狩市防災マスター

〔目的〕 防災に関する知識を習得し、平常時からの意識づけ、取り組みを行い、災害発生時の対応に繋げる。自主防災組織の意識を高める。

■ 研修会の主な内容

1. 北海道の防災教育（知識編）の視聴
2. 石狩市近郊で想定される自然災害（地震・津波・洪水）について
3. 自主防災組織について
4. 災害発生時に想定される課題について

■ 研修会の成果

DVD、パワーポイントによる説明で、自然災害の恐ろしさ、その対応等について認識できた。

～自然災害の恐ろしさと対応を学ぶ～ 防災講習会



DVDで防災学習



パワーポイントでの説明

石狩市

あさひ町内会

- 〔実施日〕 令和5年11月4日（土）
〔世帯数〕 169世帯
〔参加者〕 町内会役員・班長・会員8名
〔協力〕 石狩市防災まちづくり協会
〔目的〕 高齢化する町内会において、会員相互の防災意識向上を図る。

■ 研修会の主な内容

1. 救急応急処置訓練（心肺蘇生法と AED 取扱い）
2. 人形を使用した心肺蘇生法の体験（胸骨圧迫）
3. AED 取扱いの体験（電源・ガイドに沿って）
4. 気道確保の体験（人口呼吸は社会情勢による）

■ 研修会の成果

勇気を持って AED を使用する重要性を体験できた。心肺停止状況の脱却は周囲の皆で連携実践の重要性を学ぶことができた。

～勇気を持って AED を使用～ 救急応急措置訓練



心肺蘇生



AED の使用

北斗市

常盤町会

- 〔実施日〕 令和5年9月10日（日）
〔世帯数〕 277世帯
〔参加者〕 市民500名
〔協力〕 北斗市防災連絡会議、北海道防災士会道南ブロック、函館市女性会議、上磯駅前商店会
〔目的〕 防災に対する地域住民の意識向上を図る。

■ 研修会の主な内容

1. 小学生向け防災講座
2. 防災ゲーム「防災タイムアタック」
3. 防災ハンドブックを読む
4. 百均で作る防災グッズ
5. 防災グッズの展示
6. 写真撮影会（消防服を着て消防車と一緒に）
7. 防災グッズのプレゼント

■ 研修会の成果

防災意識の向上が図られた。

～町会が主体的にお手伝い～ ほくと防災マルシェ



市民を対象にした受付



写真撮影会

北斗市

向野町内会

〔実施日〕 令和5年10月21日（土）

〔世帯数〕 622世帯

〔参加者〕 町内会員17名

〔協力〕 北斗市総務部総務課

〔目的〕 北斗市の防災担当職員を講師に、向野会館で津波による罹災者を迎える想定のもとに、避難所開設と避難者の受け入れ手順について参加型の研修会を実施。避難所運営方法を習得するとともに町内会員の防災意識の向上を図る。

■ 研修会の主な内容

1. 避難所開設後の避難者受入研修
受付窓口を設置し、受付での名簿作成等実際の受付手順を確認した。
2. 防災用避難テントの設営研修
防災用避難テント及び簡易ベッドを実際に設営し、手順を確認した。
3. 避難所設営、運営等に関する研修
他自治体での災害時の避難所設営・運営状況等について、市防災担当職員を講師に研修。

■ 研修会の成果

避難所で実際に使用する名簿に記入しながら受付手順を確認し、防災用避難テントを設営。テント内の広さを体験し、避難所設営・運営時において実効性の高い研修ができた。



寝袋の説明

～避難所の生活を体験～

災害時の避難所開設及び運営に関する研修会

北斗市

ひまわり町会

〔実施日〕 令和5年7月8日（土）

〔世帯数〕 315世帯

〔参加者〕 町会会員および周辺町内会住民25名

〔協力〕 北斗市、北斗市防災連絡会議、日本赤十字社

〔目的〕 北斗市が4月に全戸配付した「防災ハンドブック」「ハザードマップ」改訂版の参加者への周知を図るとともに防災意識の向上に努める。

■ 研修会の主な内容

1. 防災ハンドブックとハザードマップの見方
2. 心肺蘇生と AED 使用講習会
3. 家庭で用意できる防災用品の展示
4. 学習会についてのアンケート

■ 研修会の成果

防災意識の向上が図られた。

～防災意識の向上～

防災学習会



心肺蘇生と AED 使用講習会



防災ハンドブックとハザードマップの周知

当別町

緑町町内会

〔実施日〕 令和5年10月29日（日）

〔世帯数〕 301世帯

〔参加者〕 町内会会員28名

〔協力〕 当別町危機対策課

〔目的〕 当町内会は年々少子高齢化が進み、高齢者世帯は増加傾向にある。さらに、災害時の避難誘導や避難所運営など自主防災組織の中心的役割を担う町内会役員は年々高齢化している。また、近年頻発する地震等の自然災害の発生も心配されることから、あらためて災害に対する心構えや対応行動、「自助・共助・公助」の役割を学習し、今後の防災対策や災害時の対応などに役立たせる。

■ 研修会の主な内容

1. 近年の災害状況
2. 防災マップの活用
3. 実技（ダンボールベッド・発砲スチロールベッド作成）
4. 防災用品・非常食等の備蓄
5. 自主防災組織
6. 防災質問コーナー

■ 研修会の成果

近年の災害状況や防災対策を学ぶことができた。「災害は忘れた頃にやってくる」「備えあれば患いなし」のとおり、心構えと準備の大切さを再認識した。災害時には慌てず、落ち着いて「自助・共助」のできる限りのことを実践したい。

～備えあれば患いなし～ 防災講習会



発砲スチロールベッド組立

当別町

六軒町町内会

〔実施日〕 令和5年7月16日（日）

〔世帯数〕 243世帯

〔参加者〕 町内会会員13名

〔協力〕 当別町危機対策課

〔目的〕 町内会会員の防災意識の向上、当別町の防災対策

■ 研修会の主な内容

1. 当別町の防災対策について
2. 当別町の過去の災害について
3. 防災マップの活用方法
4. ダンボールベッド作成
5. 非常食の試食

■ 研修会の成果

防災について考えるきっかけとなり、有意義な講習となった。

～会員の防災意識の向上のため～ 防災出前講座



過去の災害について



ダンボールベッド組立

当別町

スウェーデンヒルズ町内会

〔実施日〕 令和5年10月21日（土）

〔世帯数〕 364世帯

〔参加者〕 町内会会員26名

〔協力〕 ファームエイジ株式会社

〔目的〕 ヒグマの出没が相次ぎ、ヒグマの生態、習性を理解し合わないため、もしくは出会った時の対策を学ぶ。

■ 研修会の主な内容

1. ヒグマの生態～当別町・天塩・増毛山系
2. ヒグマについて～対策、実践編
3. 熊スプレーの発砲体験
4. 北大獣医学部より借用「毛皮・手足のはく製、糞の写真」展示

■ 研修会の成果

募集人員を上回る参加者により開始。講師からのわかりやすい説明、DVD 等による映像が大変役に立った。

～もしもヒグマに出会ったら～ 防災出前講座（ヒグマ対策）



ヒグマの生態を学ぶ



ヒグマとおつきあい

倶知安町

新東和会

〔実施日〕 令和5年6月4日（日）

〔世帯数〕 57世帯

〔参加者〕 町内会会員28名

〔協力〕 倶知安町、東林寺

〔目的〕 防災意識の把握と向上

■ 研修会の主な内容

1. 炊き出し訓練（非常食アルファ米の試食）
2. 簡易ベッド・トイレ組立訓練

■ 研修会の成果

避難訓練を通して、会員同士のコミュニケーションの輪が広がり、いざという時に助け合うことができるのではないかと思います。

～いざという時の助け合いのために～ 避難訓練



炊き出しの様子



簡易ベッドの組立て

枝幸町

本幌別自治会

〔実施日〕 令和5年6月3日（土）

〔世帯数〕 14世帯

〔参加者〕 本幌別自治会会員11名

〔協力〕 枝幸町、南宗谷消防組合枝幸消防署

〔目的〕 地域住民の安全な避難体制の確立を図るとともに、避難行動の習得と防災に対する意識向上を図ることを目的とする。

■ 研修会の主な内容

1. 避難訓練（豪雨により河川水位が上昇し、土石流が発生、住民避難を実施）
2. 防災教育（AEDを使用した）
3. 消火訓練

■ 研修会の成果

避難経路や災害に対する日ごろからの備えを再確認することができ、防災意識を高めることができた。

～河川氾濫前の避難を想定して～ 防災会防災訓練



避難所の受付



救急救命講習

津別町

豊永第3自治会

〔実施日〕 令和6年1月21日（日）

〔世帯数〕 85世帯

〔参加者〕 自治会会員29名

〔協力〕 津別町防災危機管理室

〔目的〕 当初は避難所体験研修を主に考えていたが、防災全体の対応について行い、非常持出品や備蓄品についても追加した。

■ 研修会の主な内容

1. 避難所体験として、避難所用テント、簡易ベッドの組み立てと使用を行った。
2. 携帯用簡易トイレの使用法の研修を行った。
3. 非常持出品、備蓄用品の実物を用意し、必要性などについて研修した。
4. 非常食の試食と炊き出しの豚汁で食事。

■ 研修会の成果

1月1日の能登半島地震のためか、参加者の関心は高くあらためて必要用品の備え等について認識が高まったと思う。

～能登半島地震により高まる関心～ 防災体験研修会



テントと簡易ベッド組み立て



簡易トイレの使用法

遠軽町

西学田自治会

〔実施日〕 令和5年7月22日（土）

〔世帯数〕 168世帯

〔参加者〕 自治会役員及び会員44名

〔協力〕 遠軽町、遠軽警察署

〔目的〕 自治会員個々の防災に対する意識の高揚を図る。実際の避難技術の習熟に努める。

■ 研修会の主な内容

1. 避難勧告の伝達訓練～一次集合場所への集合、要援護者等の確保ほか
2. 指定避難場所への集団避難訓練～移動指示、要援護者の救護活動訓練〔リヤカー使用〕
3. 避難後の訓練～安否確認、被害状況の確認、段ボールベッド、トイレ等製作、食事提供

■ 研修会の成果

訓練の実施により、地域内の防災意識の高揚が一層高まった。緊急時における役割分担の大切さ及び協力し合うことの大切さが確認された。

～役割分担と協力の大切さを学ぶ～ 防災避難訓練



リヤカーで集団避難訓練



トイレの製作

白老町

末広第一町内会

〔実施日〕 令和5年11月12日（日）

〔世帯数〕 163世帯

〔参加者〕 町内会会員27名

〔協力〕 しらおい防災マスター

〔目的〕 近い将来、発生が予測される大地震・津波時の高齢者避難等の研修と実技を実施し、防災意識の普及と町内会防災活動の活性化を図る。

■ 研修会の主な内容

- 講話 1. 白老町の地震・津波の歴史
2. 防災マップによる千島・日本海溝の大地震・津波の被害予想
3. 高齢者避難の難しさと自動車避難の限界
4. 地域の防災力「近助」の受容性
5. 防災講習会アンケートの実施
- 実技 1. 防災用ダンボールベッドの組立・使用体験

■ 研修会の成果

町内会防災意識の現状をアンケートから把握できた。防災意識普及の必要性を再認識した。日頃の町内会活動を通じ、近所付き合いの必要性を再認識した。

～近所付き合いの必要性を再認識～ 防災研修会



千島・日本海溝の被害予想



ダンボールベッドの組立

安平町

追分第2町内会

〔実施日〕 令和5年8月22日（火）

〔世帯数〕 33世帯

〔参加者〕 町内会会員7名

〔目的〕 自主防災組織体制の充実と規約等の再検討

■ 研修会の主な内容

1. 自主防災組織規約の認識及びその共有
2. 組織図の人員配置の再編と連絡体制の再検討
3. 防災備品等の検討と現備品の共有
4. 災害時、要援護者（特に独居高齢者）の安否確認等
対応表の検討（継続）

■ 研修会の成果

役員会の中で本会議を実施した。現役員による組織と人員配置や連絡体制などを検討でき、役場防災係とも共有していきたい。独居高齢者安否確認支援については継続審議。

～連絡体制の充実を再検討～ 自主防災組織運営会議



要援護者の安否確認を検討

むかわ町

豊城自治会

〔実施日〕 令和5年12月3日（日）

〔世帯数〕 39世帯

〔参加者〕 自治会員16名

〔協力〕 むかわ町情報防災対策室

〔目的〕 地域における防災対策や会員相互の防災意識の強化

■ 研修会の主な内容

1. 防災担当者による津波・洪水に関する講話
2. 豊城地区の各種災害の特徴に関する講話
3. 豊城自治会自主防災組織活動に係る意見交換

■ 研修会の成果

地域における防災意識の向上を図ることができた。

～津波・洪水災害に備える～ 防災研修会



意見交換の様子



豊城地区のハザードマップ

新冠町

節婦自治会

〔実施日〕 令和5年10月15日（日）

〔世帯数〕 214世帯

〔参加者〕 自治会会員29名

〔協力〕 新冠町、消防署新冠支署

〔目的〕 災害発生時に地域住民が迅速かつ的確に応急対応ができるよう、防火防災訓練を実施するとともに、防災意識の高揚を図る。

■ 研修会の内容

1. 応急手当訓練
2. 消火訓練
3. 避難経路、場所の確認
4. 避難所運営訓練（発電機の使い方、ダンボールベッド等の組立、使い方他）
5. 防災品の確認

■ 研修会の成果

災害の発生に対して、救急処置の手順、応急手当の方法、簡易搬送方法を学ぶことができた。避難所備え付けの資機材の使用方法を学び、自らが使用することで、災害直後の住民だけの状況で避難所開設の流れを理解することができた。

～避難所開設までの流れを学ぶ～ 防災訓練



プライバシー対策の間仕切りテント



ダンボールベッドの組み立て

釧路町

遠矢町内会

〔実施日〕 令和5年6月11日（日）

〔世帯数〕 150世帯

〔参加者〕 町内会会員25名

〔協力〕 釧路町防災安全課

〔目的〕 町内会自主防災組織立ち上げ後、防災組織の意義と目的を理解してもらう。

■ 研修会の内容

1. 自主防災組織の支援のあり方～災害から身を守る
2. HUG（ハグ）の活用方法
避難所運営ゲームカードを用いて、遠矢中学校校舎内の平面図に講師からの避難者の状態に応じた入居場所を確保する内容で行う。町担当者からハグの説明を受け、班に分かれて実施した。
3. 参加者からの質疑応答を行ない終了した。

■ 研修会の成果

自分たちが住んでいる地域が津波、洪水の自然災害にあった場合、どの様に行動したら良いか、自主防災組織の役割、活動が理解出来た。今後は自主防災訓練で知識を養っていく。

～自主防災組織の役割と活動を学ぶ～ 防災講話



避難所運営ゲーム



避難者の入居場所を確認

別海町

西春別駅前連合町内会

- 実施日** 令和5年10月15日（日）
世帯数 570世帯
参加者 地区周辺住民120名
協力 別海町、陸上自衛隊、消防西出張所、消防団第7分団、長命クラブ、中標津警察署西春別駅前駐在所、日赤奉仕団上西春別分団
目的 防災研修の実施により、地域住民の災害への防災意識と準備の気運を高める機会を提供する。

■ 研修会の主な内容

1. 災害弱者の安否確認
2. 災害発生後の避難所体験と研修（ダンボールベッド組立・炊き出し体験・給水体験）
3. コンティサウナ（コンテナ型の移動式バス&サウナ）による冬期災害時の採暖方法の研修
4. パンフレットによる自主防災会の存在認知と地域対策（ローリングストック等）の認知

■ 研修会の成果

アンケートでは、防災意識が高まったとの感想が多く、対策が不十分なところが見えて良かった。

～地域防災力を強めるために～ 防災訓練・研修会



可動式ポンプで消火体験



キャンプ場や災害時にも活用コンティサウナ

中標津町

白樺町内会

- 実施日** 令和5年10月29日（日）
世帯数 310世帯
参加者 町内会会員28名
協力 中標津町総務部総務課
目的 町内会における防災意識向上のため、非常時において、町内会で何ができるかを1人でも多くの会員に知ってもらう。

■ 研修会の主な内容

1. 町防災担当による研修（出前講座：日ごろからの備え）を受講、災害緊急時用ダンボールベッドの組み立て演習
2. 非常時用の水を確保するため、近隣の公園に設置している地下水汲み上げパイプから、自家発電機を活用しポンプアップして水を汲み上げる訓練を実施。
3. 町内会で備蓄している非常食や防災グッズを展示。
4. 非常食の調理、試食

■ 研修会の成果

町内会で行える防災活動や避難活動は限界がある。参加者に町内会でどこまで対応できるのか知っていたことで、この研修会の成果は大きい。

～町内会でどこまで対応できるか～ 防災訓練



出前講座で日ごろの備えを受講



自家発電機で地下水汲み上げ

中標津町

東中町内会

〔実施日〕 令和5年9月24日（日）

〔世帯数〕 300世帯

〔参加者〕 町内会員100世帯

〔協力〕 中標津町総務部総務課

〔目的〕 過去に開催の全町内会員を対象とした「総合訓練」は、コロナ禍により令和2年度から中止し、被災時に最低限必要な対応について、役員による防災研修会等を実施していた。会員より地域連携の必要性からも「総合訓練」の実施を求められ、東中町内会が中心となり「総合訓練」の実行委員会を組織し、関係団体と共同で開催実施することとした。

研修会の主な内容

1. 町防災担当者による研修：災害時における備え、避難所における町内会の役割、中標津町における防災資機材・防災備蓄食料等
2. 実技：ダンボールベッドの組み立て、炊き出し訓練

研修会の成果

総合訓練の再開で、最新の防災行政情報が提供できた。少子化・高齢化の町内会員に対する防災対策が提起され、今後の課題として取り組んでいきたい。

～地域連携の必要性～ 東中地域連携防災訓練



ダンボールベッドの組み立て



炊き出しの美食

羅臼町

八木浜町町内会

〔実施日〕 令和5年8月6日（日）

〔世帯数〕 104世帯

〔参加者〕 町内会会員40名

〔協力〕 羅臼町、羅臼町社会福祉協議会

〔目的〕 突然の災害に備え、日ごろの訓練を重ねる。

研修会の主な内容

1. 避難訓練
2. 安否確認訓練
3. 炊き出し訓練
4. 室内でのテント張り、ダンボールベッド組立て実技研修

研修会の成果

当日、雨天のため参加者は少なかったが、成功裡のうちに無事終了した。

～地震による津波災害を想定して～ 自主防災訓練



室内テント張り



子供もお手伝い炊き出し訓練

災害に強いまちづくり全道運動

道町連共済会員還元事業

令和5年度防災活動研修会支援助成事業実施要綱

1 目的

近年、全国各地で度重なる地震や台風のほか、気候変動等による影響により、大きな災害の発生やこれまで該当しないと思われていた地域においても災害の発生が懸念されています。また、昨年末に内閣府が公表した巨大地震による太平洋沿岸の被害想定では、北海道は主に津波による死亡が最大13万7千人と示され、行政のみならず、企業、地域や個人で対応できる備えが必要とされています。改めて地域における住民主体の「防災訓練」や「避難訓練」、「自主防災組織づくり」等の取り組みが強く望まれます。

大きな災害では、地域住民の連携と協力による情報伝達や避難誘導、災害時要援護者への支援、避難所運営等の組織的な行動が、減災に大きな力を発揮することから、町内会・自治会における、地域の支え合う関係づくりが期待が寄せられています。

そこで、本助成事業は、災害に強いまちづくり全道運動として、単位町内会及び地区連合会において実施される防災訓練や自主防災組織研修会等に対して、道町連共済の会費収入を財源に助成を実施し、安心・安全な町内会活動を応援します。

2 事業の実施主体と助成対象

単位町内会及び地区連合会

※道町連共済に加入する組織に限定します。

3 助成の対象となる研修会

道町連共済に加入する単位町内会及び地区連合会が主催あるいは共催する研修会等

本年度は、昨年度（令和4年度）同様に新型コロナウイルス等の感染予防に配慮しながら、安心・安全な研修会をすすめていただくようご案内いたします。

また、昨年度同様に会員還元事業としての目的を徹底するため、助成対象を道町連共済に加入する組織に限定いたします。

（具体的な研修会例）

- 炊き出し訓練、防災講習会、防災マップづくり、災害図上訓練（DIG）
- 自主防災組織研修会、自主防災組織づくりのための会議、避難所運営訓練
- 災害時要援護者世帯調査・マップづくり、安心・安全関係者ネットワーク会議
- 応急手当研修会、救急救命研修会 等

4 申請の要件 1 正会員組織3カ所まで

※本助成は会員還元事業として、助成対象を道町連共済に加入する組織に限定します。

5 助成金額 1カ所 20,000円

6 助成枠 100組織／予算200万円

（本助成は、道町連共済の会費収入を財源にしています。）

7 申請書の提出

助成を希望する正会員組織は、別添申請様式により、要綱（案）を添付の上、下記事務局に申請してください。なお、申請書の様式は、本会ホームページの「会員専用ページ」よりダウンロードできます。

8 申請にあたってのお願い

本助成事業は、安心・安全な町内会活動を応援するための道町連共済会員還元事業として、道町連共済の会費収入を財源に平成17年度より実施しています。申請にあたりましては、本事業が道町連共済の事業費によって実施されていることを単位町内会等へ周知いただくとともに、道町連共済へのより一層の加入促進にご協力くださるようお願いいたします。

9 申請書の提出期限 令和5年8月4日（金）

10 助成の決定と送金

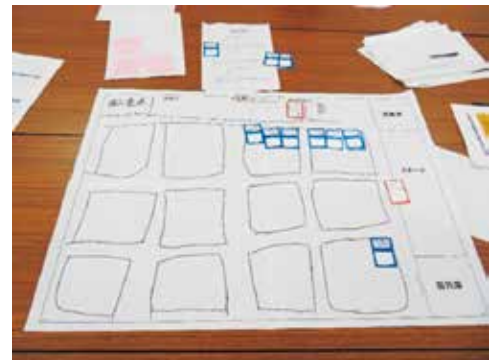
- 1) 希望が多数の場合は、北海道町内会連合会正副会長会議において協議のうえ決定します。
- 2) 助成金の決定と送金は9月中旬に行う予定です。

11 報告書の提出

別添報告様式により、資料及び写真を添付の上、令和6年2月2日（金）までに下記事務局に報告してください。なお、報告書の様式は、本会ホームページの「会員専用ページ」よりダウンロードできます。

12 申請並びに報告先

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2.7 2階
一般社団法人 北海道町内会連合会事務局
Tel 011-271-3178 / Fax 011-271-3956
ホームページ <http://www.d-choren.or.jp>
メールアドレス info@d-choren.or.jp



令和5年度
防災活動研修会支援助成事業実施報告書

災害に強いまちづくり 全道運動

令和6年3月 発行

一般社団法人 北海道町内会連合会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでの2.7

TEL 011-271-3178

FAX 011-271-3956

E-mail: info@d-choren.or.jp

<http://www.d-choren.or.jp>

